

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月2日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104225
法人名	株式会社グロリアコーポレイション
事業所名	グループホームめぐみの丘坂元
所在地	(電話) 099-248-2355
自己評価作成日	平成27年11月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年11月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然な環境の中、広大な敷地内で四季折々に、花や家庭菜園を入居者様と共に作り、収穫してお出ししています。又日々バランスのとれた食材に気配りして、見た目も美しく、味・量等も各自合わせて提供しております。自立支援をめざし寝たきりにさせないように、日中はホールに集まり、カラオケを中心に脳活性リハビリ・口腔体操等に取り組んでいます。入居者様お一人一人を把握して尊厳を保ちながら、日々明るく楽しく笑顔で過ごしていただけるように支援しております。

鹿児島市北部の高台に位置するホームは1ユニットで運営されており、家庭菜園やお茶会などを開く陽当たりのいい庭も有し、自然豊かで広々とした敷地に建てられている。熱心に野菜造りに精を出す利用者の姿も見受けられる。現在の地に移転してきた際に、近隣への挨拶周りや声掛けをしており、ホームへの理解や協力体制を築く足掛かりとするなど努力をしている。町内会に加入し、清掃活動への参加や総会にも出向いており、地域の老人会からは毎年、七夕飾りが届けられている。ホームの草刈りの手伝いや、雑巾、野菜の差し入れなどもあり、移転して4年が経過し、双方で交流の輪が広がって来ている。

ホームに閉じこもらない生活支援に力を入れており、年間を通して多彩な外出計画が実施されている。車椅子の利用者も全員参加が基本であり、日本舞踊の見学や秋の木市など普段行けない様な場所に出掛けられる事は利用者の生き甲斐や喜びとなっている。

月に2回ある訪問診療は(利用者個別の日程で主治医の入念な診療となっている。日常の健康管理や急変時、夜間対応も協力医療機関との連携が密であることは利用者、家族の大きな安心につながっている。

管理者を中心に職員は共に助け合いチームワークも良く、働きやすい環境にあることはサービスの向上に反映されている。1ユニットゆえの利用者個々への細やかなケアを大切にしており、家庭の延長上の温かみを感じられ、利用者は此处を「家」と思い安心して暮らしているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ケア会議の時、各分担業務を置いて、入居者様の為に何を支援出来るか、常に念頭にケアの方針理念・介護方針を共有し、スキルアップする為に研修を重ねている	平成22年に全員で話し合い、見直しを行っている。利用者個々の個性や特性をしっかり把握し、思いに寄り添う支援に努めている。玄関やリビングに掲示し、ケア会議で振り返る機会を持ちサービスの基本である理念の確認と共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事・催し物・町内会掃除参加・回覧板で毎月把握してお互いに相談事・アドバイスを受けてたり、ボランティア活動も受け入れて、交流を密にしている	町内会加入や運営推進会議を通して地域との交流を積極的に行っている。高齢化が進む地域の中で町内会より認知症に関する勉強会の要望が出されており、今後、地域貢献に向け、運営推進会議で話し合われる予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ホームへの電話や見学者に対して丁寧に対応して、認知症の現状や支援の方法を伝え、理解を深めている 地域の方達の協力やコミュニケーションを常にとっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において、毎回出席者の方への連絡、事前に資料作成して、活動報告書に基づいて説明している 又外部からの要望・アドバイスを頂いている	町内会長、行政、民生員等の参加を得て、2カ月置きの定期開催である。ホームの現状報告を主とし、外部からの意見、アドバイスを運営に反映している。家族参加が厳しい現状ではあるが、参加し易い日程などを工夫し、今後も参加への声掛けをしていく意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	問題点や疑問があれば、市町村担当者に相談したり、指示をあいおいでいる。それを事業所としてさらに積極的に取り組んでいる	困難事例やプランに関しての相談など何でも相談し易い関係にあり双方で情報の共有が出来る様に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2014年身体拘束委員会により身体拘束の定義・禁止されている理由・拘束が拘束を生み悪循環が生じるなどの資料を作成。ケア会議等で身体拘束をしないケアの実践に向けて再確認している	入居時に家族へホームの生活でも起き得る高齢者のリスクについて説明し、理解を得ている。ケア会議で研修の場を持ち、言葉を含めて具体的な身体拘束の弊害について、職員は理解している。日常的に職員の見守りと連携で利用者は拘束のない自由な暮らしを送っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設け委員活動により、施設内で問題が生じた場合、ケア会議で話し合いをし、体制を検討し虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	グループホーム運営がスムーズに行え、向上につながるよう外部研修に参加して、ご家族とは訪問して下さった時やメール電話等で情報の提供・相談を行う。基本である自立支援にも力を注いでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者様の突然の入院・退院・退所・入所の契約の締結は、ホームの内容を十分に説明して利用者様のご要望等をお聞きして、より良い生活支援を納得してもらっています</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様のご家族との意見交換を重視、本音で話し合い職員からの提案や個々の入居者様の日々の生活レベルを把握し、ご家族様のご要望をしっかりと受け止め、全ての運営に反映させている</p>	<p>家族会はないが、年間の行事には必ず参加を呼びかけ、ホームへ足を運んで貰う機会にしている。面会時やメール、電話を利用し意見や要望の聞き取りをしている。思いを引き出せる利用者も多く、出された意見要望は話し合い、改善や見直しに繋げている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ケア会議時に必要があればしっかり時間をかけて入居者様の個々の状態把握に質疑応答を設け職員の要望・コミュニケーションも大切にしている。いつも提案要望は管理者は聞いている</p>	<p>全員参加で月に1回、ケア会議を開いている。オムツ整理や服薬管理など日々の業務を細かく担当制にし職員間の連絡ノートで共有を図っている。定着率も良く、個々が働きやすいシフトで管理者・職員間のコミュニケーションも良好である。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員との報告・連絡・相談、ホウレンソウを徹底的に行う努力をし、不安のないように本社への報告・指導をあおいでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>常に研修の大切さを推奨し、出来る限り内部研修には力を注いでいる 外部研修もレベルアップのために自主的に参加を促している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域交流会や市からの案内連絡会には積極的に参加している 病院を訪問、同業者の施設を訪ねたりして、質の向上に務めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所申し込みの段階から本人・ご家族の困っている事や要望などアセスメントを行い不安なく暮らせるように説明や見学をして頂き、安心できる関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用契約時にご家族の要望や本人が言えない思いなどをご家族を通してお聞きしている 契約後も支援継続しながら面会時は面談し、よい信頼関係を築き保てるように努力している		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族が不安としていること必要としている事を定期的にモニタリングを行うと共に、介護職員間の情報を共有しその時に必要なサービスが提供できるように努力している 他のサービスが必要な状況が発生した時は、家族に説明を行い支援している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援の目標として個々の個性を尊重し、自分の出来る事・出来るようになったことを共に共有し、支え合うことに努めている 家庭の延長のような安らぎの場である事に心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様が生活の中で自分の個性を発揮し、安心して過ごす事ができるようご家族からご本人についての情報を得ながら対応し、援助している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にはご都合の良い時には面会や電話をして下さるよう依頼している 又墓参りや買い物希望されている入居の方には管理者が時間に余裕のある時にお連れしている	親族の訪問や電話の他に、時季により林檎などの贈り物が届く利用者もあり、職員が代筆で札状を書く事もある。自宅に帰ったり、お寺参りなど個別支援でも柔軟に対応することでこれまでの関係が継続出来る様に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は一緒に家事を行ったり、レクリエーションをする中で、入居者同士の関係を築いて頂けるよう努めている 又不穏な状態になられたり、体調の悪い方がおられ職員が対応していると一緒に説得したり、気遣いを示して下さる入居の方もおられる		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院・退所される方に対して、ケアマネジャーが相談を受け、手続きの援助やアドバイス等をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	レクリエーションや外出行事など本人の思いが伝えやすい状況の時や日々のかかわりの中で話を聞いたり声かけを行うなど、日常生活の中で表情や行動、スタッフとの申し送り等により真意の把握に努めている 股家族や関係者から情報等も得ている	具体的に投げかけをする事で、思いを引き出し、自己決定を重んじている。日々の生活で表情や所作、以前の生活歴なども職員間で共有し、家族からの情報も取り入れながらその人らしい暮らしが出来る様に支援している。	
24		一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の環境アセスメントより、入居前の生活歴や生活環境を理解し、入居後の生活状況のサポートに心がけている 時にふれ昔の話や思いを会話の中から把握に務め、職員全員で共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフとの申し送りや情報の共有により入居者様の今できている事やできなくなっていることなど、ご本人全体の状態把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議で入居者・ご家族様・職員・主治医の意見を含め、入居者様の暮らしが自分らしくできるように介護計画を作成している 毎月のケア会議の中で入居者・ご家族様の関係や入居者様の状態を全職員でモニタリングを行い、職員の意見も反映している	利用者、家族等の意見、要望を聞き取り、月1回のケア会議時や日々の業務時等から職員の意見も取り入れている。レベル低下や他科受診の変更など主治医の指示も仰ぎ、現状に即した介護計画になる様に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月々生活援助計画を認識しながら個々の自立支援に取り組んでいる。当日勤務の職員の意見を聞きながら、毎日個別に記録している。毎日の申し送りを実施し、全員に伝わるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居様一人ひとりの状況を常に把握して、その方の思いを組んで柔軟に対応、必要に応じて多機能に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人暮らしの方は孤独感が強い。ため寂しくないようご家族・市役所のサービス課等の連携を取りながら、必要な支援を実施している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の受診を受ける。兼ねてより主治医との信頼関係を築き、その度報告を行い、情報を共有し適切な支援を受けられるよう努力している	月2回の訪問診療がある。内1回は利用者毎に日程を組み入念な診療を受けている。急変時や夜間帯など、協力医療機関との連携も密に取れており医療面でも安心な環境である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>			
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>緊急連絡網を作成し、いつどのような事態にも対応できるように主治医・医療機関との連携を常日頃から情報交換・信頼関係を深めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期においては第一にご本人の意思・ご家族の意向、主治医の見解や説明を聞き、ホームで出来る最大限の支援を行えるように職員と一丸になり、取り組んでいく</p>	<p>ホームの方針について家族に説明しており「看取り介護についての同意書」を作成し同意を得ている。段階に応じ、主治医の指示の下、全員で方向性を共有し希望に沿える様にホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変事、事故発生時の備えはケア会議で常に討議・ヒヤリハットの反省点や、初期対応訓練や実践力を身に付けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に消防署の方や設備会社の方に依頼して、消火・避難訓練を実施している。年に1回自主訓練も実施、また地域の方々・設備会社や消防署の立会の下、災害に対しての研修なども行い、普段から協力してもらえるように働きかけている</p>	<p>自主訓練も含め年3回の訓練を行っている。運営推進会議のメンバーも参加し災害時の連絡網にも登録がある。地域の高齢化が進み協力依頼が難しい環境ではあるが、利用者の安全確保の為に、ホームだけでは対応しきれない見守りなどの役割の働き掛けを今後も続ける意向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬意をもって言葉かけを行っています	入浴やトイレ介助時などのプライバシーを損ねない声掛けや接し方に配慮している。名前の呼び方も含め、生活全般を通して人格を尊重し誇りを傷付けないケアを重んじている。、	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様のの気持ち・思いをする為に話を聞くことを大切にしています 入居者様の気落ちを表現できるよう優しく働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりのペースを把握し、その日の生活の中で、一人ひとりの役割を見つけその人らしく喜んで過ごせる様支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床後や入浴後整髪し、女性の入居者様にはお肌の手入れを支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの菜園で採れた野菜を食材に利用したりして野菜の下ごしらえ・準備・下膳・皿洗いなど能力に応じて関わってもらっている	柔らかさや刻み食など利用者の身体状況に合せ調理している。殆どが介助なく自分のペースで食事ができている。旬の食材を盛り込み味覚、視覚共に食事が楽しみな時間になっている事が伺える。食材にもこだわり3食共にバランスよくメニューが組まれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を記録し、食事摂取量が少ない方は高濃度液状栄食を摂り、形状を変えたり好きなものをプラスなどして、摂取量の確保に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの状態に応じて義歯の洗浄・口腔ケアなどを支援している 昼食時は口腔体操を実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を基本にしている 排泄チェック表を用いてそれぞれの排泄パターンを見て、声かけ・誘導を行っている	夜間帯のみポータブルの利用者が1人いるが、日中は自立支援に向け、すべての利用者はトイレでの排泄が出来ている。個別の排泄チェック表を活用し、誘導と確認で失敗を減らし自信の回復や改善に向けたケアを実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便ができるように水分の摂取や運動・食事に気を付け、便秘にならないように注意している 排泄チェック表を用いて便秘の方には医師の指示の下、下剤を利用することもある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は職員が一对一で行い、その日の状態や個々の要望も聞き入れながら、安全でくつろぎ楽しめる入浴を支援している	順番や湯加減など可能な限り希望に応じられる様にしている。ためらう利用者には職員や時間を替えて柔軟に対応することで入浴が負担にならない様に心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼は出来る限り体を動かして手足（心臓に遠い所から指運動、頭体操など行い、夜はぐっすり休んで頂く		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの状態を把握して医師に伝え、主治医より薬剤指導をして頂き、常に主治医・薬剤師・職員間で情報を共有している。また状態に合わせて柔軟に対応している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の配膳や洗濯たたみ、本人の得意分野をいかし、出来る事をして頂く。字の得意な方・歌を楽しみたい方、その人の好きな事に寄り添いながら行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一年間を通じて行事支援を行っている。四季折々の感性を味わってもらい、気分転換できるよう、外食等も一人ひとりの好みに応じて楽しんでもらっています	希望に応じて買い物やお寺参りなどの個別の外出にも力を入れている。季節に応じた年間計画を立て車椅子の利用者も全員で外出を楽しんでいる。普段行けない様な舞踊の見学や木市の散策など毎回、新しい場所を取り入れ社会との関わりや生き甲斐に繋がるような取り組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理が困難な方は一括して小口現金として預かり、ホームの方で小遣い帳や領収書を管理し、家族の訪問時に確認して頂き、捺印してもらっている 又金銭管理が出来る方は本人の出来る範囲で領収書の保存を行って貰っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族よりかかってきた電話は取次、本人がゆっくりはなせる様支援している 又手紙は本人にお渡しし、届け物などは送り主へ電話をかけ話してもらおうよう支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングのテーブルで皆が、一緒に食事したり、会話やTV鑑賞・トランプなどする生活の中心になっている 又ソファもくつろぎの場になっている テーブルには花を飾ったりし、季節感を取り入れている</p>	<p>大型のソファは、利用者の食後の人気のコーナーになっており、ゆっくりくつろげる空間である。テーブルには名前を表示し、定位置で安心して食事やレクリエーションを楽しんでおり、まめに陽射しの調整を行うなど、心地よい環境作りを工夫している。ホーム全体が清掃が行き届き、臭いも無く清潔に保たれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングのソファではゆっくりくつろいだり、 又テーブルでは入居者様同志会話を楽しまれている 又テーブルでは入居者様の興味のある事をされたり、TV鑑賞を楽しまれている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時にご家族・本人と持ち込みについての話し合いをして、備え付けのものや、持ち込みたいものを取り上げ、写真やぬいぐるみ等、淋しくならないように居心地よく過ごせる様工夫している</p>	<p>ぬいぐるみやオーディオセット、仏壇等、個々の思い入れの深い品々を持ち込んでいる。個別性が感じ取れ、利用者は安心して暮らせるプライベート空間になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室のドアには番号や名前を迷わないよう張り出している トイレもわかるよう工夫している 手すり・廊下やトイレにも安全で自ら行動できるよう心配りしている</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない